対象年齢：11歳以上

⚠ 注意（ちゅうい）

おうちのかたへ　必ずお読みください。

- ●安全に使用するため、「取扱説明書」をよく読んで必ず守ってください。
- ●窒息などの危険がありますので、小さいお子様には商品を絶対に渡さないでください。また、口の中に入れたり、なめたりしないでください。
- ●ソフト本体を分解しないでください。思わぬ事故や故障の原因となります。
- ●梱包用のフィルムは、開封後、すぐに破棄してください。口を覆うなどして、窒息のおそれがあります。

口に入れない

小さい子にふえない

© Benesse Corporation 2012 Printed in Japan

本ソフトウェアでは、フォントワークス株式会社のフォントまたは同社のフォントを改変したフォントを使用しています。

本製品の一部にシャープ株式会社のLCフォントを使用しております。
LCFONT、エルシーフォント及びLCロゴマークはシャープ株式会社の商標です。

The Nuance logo is a trademark of Nuance Communications, Inc.

NINTENDO DS・ニンテンドーDSは任天堂の登録商標です。　Trademarks registered in Japan.
意匠登録 第1259804号、第1260043号
ディーエス/DSは任天堂の商標です。
日本音楽著作権協会 V-1105923

NINTENDO DS

Benesse

Produced by 進研ゼミ

得点力学習DS 中学実技 4教科

とりあつかいせつめいしょ
取扱説明書

MAA-NTR-TQAJ-JPN

このたびは“ニンテンドーDS”専用ソフト「得点力学習DS 中学実技4教科」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に、この「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しい使用方法でご愛用ください。なお、この「取扱説明書」は大切に保管してください。

安全に使用していただくために…

⚠ 警告

- 健康のため、ゲームをお楽しみになるときは、部屋を明るくして使用してください。特に小さなお子様が遊ばれるときは、保護者の方の目の届くところで遊ばせるようにしてください。
- 疲れた状態での使用、連続して長時間にわたる使用は、健康上好ましくありませんので避けてください。また、ゲームをするときは適度に休憩をとってください。めやすとして1時間ごとに10～15分の小休止をおすすめします。
- ごくまれに、強い光の刺激や、点滅を受けたり、テレビの画面などを見たりしているときに、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などを経験する人がいます。こうした症状を経験した人は、ゲームをする前に必ず医師と相談してください。また、ゲーム中にこのような症状が起きた場合には、直ちにゲームを中止し、医師の診察を受けてください。
- ゲーム中にめまい・吐き気・疲労感・乗物酔いに似た症状などを感じたり、目や手・腕に疲労、不快や痛みを感じたときは、直ちにゲームを中止してください。その後も不快感が続いている場合は医師の診察を受けてください。それを怠った場合、長期にわたる障害を引き起こす可能性があります。
- 他の要因により、手や腕の一部に障害が認められたり、疲れている場合は、ゲームをすることによって、症状が悪化する可能性があります。そのような場合は、ゲームをする前に医師に相談してください。
- ステレオヘッドホンを使用して大音量で長時間聞いていると難聴になる恐れがあります。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で使用してください。もし、耳の疲労や耳鳴りのような異常に気づいたら一旦使用を中止し、その後も耳鳴りのような異常が続いている場合は医師の診察を受けてください。

⚠ 警告

- 運転中や歩きながらの使用は絶対にしないでください。
- 航空機内での使用について、航空法により、離着陸時のあらゆる使用や飛行中の無線通信の使用は禁止されており、処罰の対象にもなりますので絶対にしないでください。
- 満員の電車やバスなど、混雑した場所では、心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があるため、ワイヤレス通信をしないでください。
- 電車内や病院、医療機関などでは、無線通信が制限されている場合があります。そのような場所では、ワイヤレス通信機能を絶対に使用しないでください。
  ※電源ランプまたは無線ランプが変速点滅しているときは、ワイヤレス通信機能がONになっています。
- 心臓ペースメーカーを装着されている方がワイヤレス通信プレイを行う場合は、心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離してください。
- DSカードを小さいお子様の手の届く場所に保管しないでください。誤って飲み込む可能性があります。

⚠ 注意

- DSカード、カードケースにはプラスチック、金属部品が含まれています。燃やすと危険ですので、廃棄する場合は各自治体の指示に従ってください。

使用上のおねがい

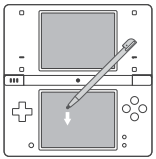
- 直射日光の当たる場所、高温になる場所、湿気やホコリ、油煙の多い場所での使用、保管はしないでください。
- 本体の電源ランプが点灯したまま、DSカードを抜き差ししないでください。
- ひねったり、叩きつけるなど乱暴な取扱いをしないでください。
- 衣類などと一緒に誤って洗濯をしたり、液体をこぼしたり、水没させたり、濡れた手や汗ばんだ手で触ったりしないでください。
- 端子部に指や金属で触ったり、息を吹きかけたり、異物を入れたりしないでください。
- 分解や改造をしないでください。
- 本体に差し込むときは、DSカードの向きを確かめて差し込んでください。
- シンナーやベンジンなどの揮発油、アルコールなどではふかないでください。清掃は乾いた布で軽くふいてください。

タッチスクリーンの基本操作

タッチペンでの基本操作には、次の2種類があります。

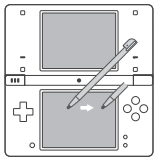
タッチする

タッチペンでタッチスクリーンを軽く押す操作を「タッチする」と言います。



スライドする

タッチペンをタッチスクリーンに軽く当てたまま、画面をなぞる操作を「スライドする」と言います。



タッチスクリーンに関するご注意

- タッチスクリーンの操作は、本体付属のタッチペン、またはゲーム中に指定されたもので操作してください。
- 傷ついたタッチペンや変形したタッチペンを使用しないでください。
- タッチスクリーンを強い力でこすったり、押したりしないでください。
- 爪を立てて操作しないでください。
- 上画面をタッチペンなどでこすらないでください。
- タッチスクリーンに砂やゴミ、お菓子の食べかすなどを落とさないでください。
- 市販の保護シートを貼り付ける場合は、保護シートの取扱説明書をよく読んで、ゴミや気泡が入らないように正しく貼り付けてください。

もくじ

- ＜得点力学習DS 中学実技4教科＞の特長 …… 6
- 得点力学習DS活用法 …… 8
- 操作方法 …… 10
- ソフトの始め方 …… 11
- 教科選択メニュー …… 16
- メインメニュー …… 20
- 学習メニューの進め方 …… 22
- 画面の見方 …… 24
- 問題を解く …… 26
- 特殊な問題形式 …… 28
- 一発暗記 …… 34
- Q&A …… 36
- 学習上の注意 …… 38

はじめに

実技4教科の定期テスト対策では、授業や教科書で学習した幅広い内容からポイントを整理して効率よく覚えることが求められます。＜得点力学習DS 中学実技4教科＞では、各単元のテスト頻出ポイントを豊富な図や音で短時間に学習できます。

セーブ（データの保存）について

本ソフトにはオートセーブ機能があり、各コースの結果表示前や「設定」(→P.17)、「テスト設定」(→P.18)を変更したときなどに、自動的にデータが保存されます。

※「設定」の「教科書設定」で使う教科書を変えると、設定を変えた教科のそれまでの成績のデータがすべて消えるので注意しましょう。

※本ソフトでは、ニンテンドーDS本体の時計機能を使用しています。使用しているニンテンドーDS本体を変えたり、日付や時間をずらしたりしないでください。

<得点力学習DS 中学実技4教科>の特長

<得点力学習DS 中学実技4教科>で「得点力」が身につく4つの理由！

教科書対応で、ポイントをスピード対策！

テスト範囲を設定することで、テストに出やすい内容だけを自動抽出。間違えた問題をニガテ抽出ドリルで繰り返せば、短時間で効率的な対策ができます。

教科書の単元に対応して取り組める！

3つのステップで、「問題が解ける」ようになる！

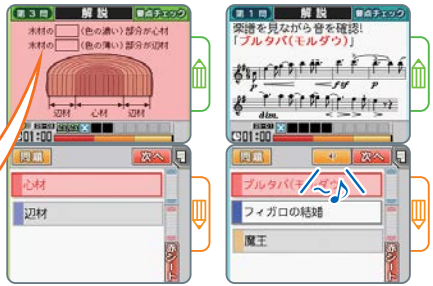
- **STEP1 要点チェック**　テストに出るポイントを覚えているか確認。
- **STEP2 ニガテ抽出ドリル**　間違えた問題だけを繰り返して記憶を定着。
- **STEP3 テスト直前ドリル**　仕上げとしてテストに近い形式で確認。

※この取扱説明書では画面写真のワクが 📄 のものは上画面、📄 のものは下画面を表します。
※この取扱説明書で掲載している画面は開発中のものです。

イラスト・音・赤シート機能ですぐに覚える！

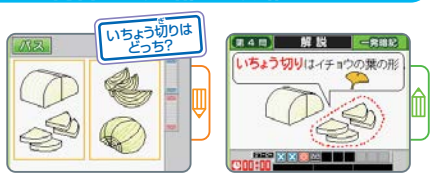
文字だけではわかりにくい手順なども、豊富なイラストで見て理解。音楽は音で確認。解説画面で赤シート機能を使えば、重要語句をその場で覚え直せます。

赤シートで重要語句を確認！



まぎらわしい内容は一発暗記で攻略！

一発暗記では、まぎらわしくて覚えにくい内容を2択でスピードチェック。ポイント解説やゴロ暗記解説で記憶に焼きつけます。



得点力学習DS活用法

テスト範囲が発表されたら、こう使おう!

1 テスト2週間前

テスト日とテスト範囲を設定しよう!

2 テスト1週間前

まずはテストに出やすい問題で要点をチェック!
テスト範囲に「一発暗記」があるときは、一緒に取り組もう。

3 テスト3日前

テスト範囲をひととおり解いたら、
ニガテを徹底的につぶそう!

4 テスト前日

テスト直前は、実戦形式の問題に挑戦!

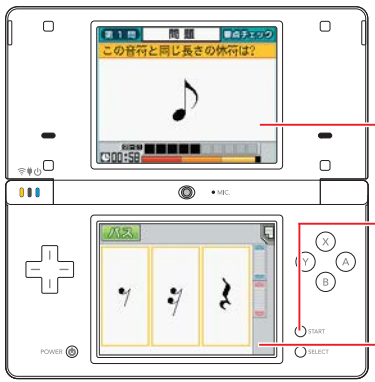
テスト当日

自信を持ってテストに挑もう!

「テスト直前ドリル」で、テスト範囲の問題にドンドン正解して条件をクリアすると……お楽しみ画面が出るよ!
キミは何画面見られるかな?

操作方法

<得点力学習DS 中学実技4教科>では、タッチペンで下画面のタッチスクリーンをタッチしたりスライドしたりすることによって、ほとんどの操作ができます。



上画面

問題や解説などが表示されます。

スタートボタン

学習中に押すと、学習を中断できます（それまでの進行状況は保存されます）。

下画面（タッチスクリーン）

操作は下画面で行います。

▲や▼などのアイコンをタッチすると、メニューや文章をスクロールしたり、画面の切り替えができます。

※本ソフト使用中に本体を閉じるとスリープモードになり、消費する電力を節約できます。ふたたび本体を開くと再開します。

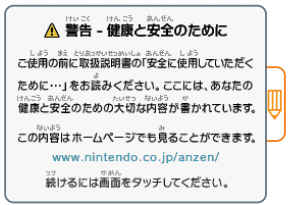
※ソフトをやめるときは、本体の電源を切ってください。

ソフトの始め方

本体の電源がOFFであることを確認し、DSカード差し込み口に<得点力学習DS 中学実技4教科>のDSカードをカチッと音がするまで差し込んでください。

ソフトの起動

1 本体の電源をONにすると、右の画面が表示されます。内容を理解したら、タッチスクリーンをタッチしてください。



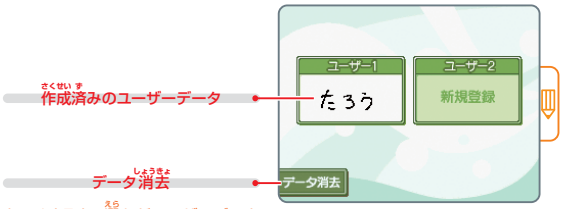
2 本体のメニュー画面で「とくてんりょくがくしゅう　ちゅう　じつぎ4きょうか」のパネルにタッチすると、ソフトが始まります。

※右の画面は、ニンテンドーDSi/DSi LLの場合の画面です。

※ニンテンドーDS/DS Liteの場合、起動モードをオートモードに設定していると、この操作は必要ありません。

タイトル画面

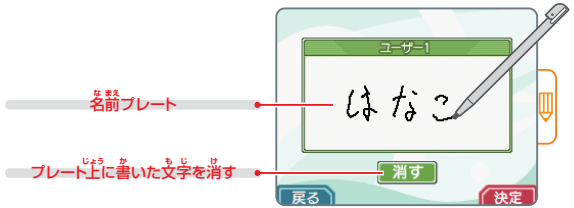
初めてプレイするときは、ユーザーデータを新規登録してください。続きからプレイするときは作成済みのユーザーデータをタッチして選び、教科選択メニュー(→P.16)に進みましょう。



タッチすると、選んだユーザーデータを削除できます。一度削除したデータは元にもどせないので注意しましょう。

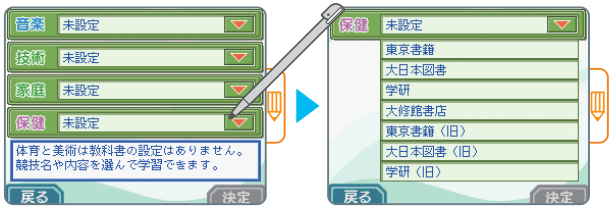
ユーザーデータの登録

タイトル画面で「新規登録」を選ぶと、新しくユーザーデータを作成できます。タッチペンで名前プレートに名前を書きましょう。「決定」を選ぶと教科書の設定(→P.14)に進みます。



教科書の設定

教科書の設定を行います。 をタッチすると教科書のリストが表示されるので、自分が使っているものを選んでください。
設定を終えたら「決定」を選び、教科選択メニュー(→P.16)に進みましょう。



対応している教科書一覧

音楽	技術	家庭	保健
教育芸術社	東京書籍	東京書籍	東京書籍
教育出版	開隆堂	開隆堂	大日本図書
教育芸術社（旧）	教育図書	教育図書	学研
教育出版（旧）	東京書籍（旧）	東京書籍（旧）	大修館書店
	開隆堂（旧）	開隆堂（旧）	東京書籍（旧）
			大日本図書（旧）
			学研（旧）

※教科書名の最後に(旧)という表記があるものは、改訂前の教科書を指します。学年や教科によって改訂前の旧教科書で学習する場合があるので、自分が使っている教科書を確認して選んでください。
※体育、美術は教科書の設定がありません。体育、美術で学びたい単元は教科書の単元名ではなく、体育の場合は競技名、美術の場合は項目名で選びましょう。

教科選択メニュー

教科選択メニューで教科を選ぶと、学習を始めることができます。
また、3つのサブメニューでは、設定の変更や成績の確認が行えます。

教科選択メニュー画面

上画面にカレンダーと学習記録、下画面に教科とサブメニューが表示されます。

カレンダー

学習した日には✔が表示されます。
また、テスト設定(→P.18)をしている場合は、テスト日にアイコンがつきます。

教科

タッチすると、各教科のメインメニュー(→P.20)に進みます。

テスト日

テスト設定をしていると表示されます。

サブメニュー(→P.17~19)

成績

テスト設定をすると、サブメニュー「成績」で、テスト範囲内の「要点チェック」(→P.21)の進み具合と、テスト日までの残り日数を確認できます。なお、テスト設定をしていないときや、テスト日が過ぎたときは、グラフは表示されません。

メダル

設定しているテスト範囲内の「要点チェック」の全問題に取り組むと銀メダルが、全問題に正解すると金メダルが表示されます。

達成度グラフ

黄は出題された問題、赤は正解した問題の割合を表しています。

テスト日までの残り日数

設定

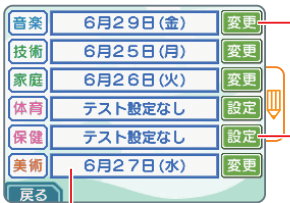
サブメニュー「設定」を選ぶと、音の出力形式や音量、手書き入力の認識スピード、教科書の設定(→P.14)を変更できます。変更したい項目をタッチしましょう。
また、「スタッフ紹介」を選ぶとスタッフクレジットを見ることができます。

BGM／効果音は「OFF」を選ぶと消すことができます。

テスト設定

サブメニュー「テスト設定」を選ぶと、テスト日とテスト範囲を教科ごとに設定することができます。テスト前になったらまずこの設定を行い、当日に備えて学習を進めましょう。

※テスト設定は全教科のテスト日を過ぎると自動的に解除されます。



変更

テスト設定をしている教科に表示され、タッチするとテスト設定を変更できます。

設定

テスト設定をしていない教科に表示され、タッチすると新たにテスト設定を行うことができます。

テスト日

テスト設定をしていると表示されます。

テスト設定をすると……

- 教科選択メニューやメインメニュー(→P.20)のカレンダーにテスト日が表示されます。
- サブメニュー「成績」で学習の進み具合やテスト日までの残り日数を確認できます。
- 学習メニュー「テスト必勝」で、「ニガテ抽出ドリル」「テスト直前ドリル」を学習できるようになります(→P.21)。

テスト日の設定

テスト設定画面で「設定」または「変更」をタッチすると右の画面に移り、テスト日を設定できます。

▲▼をタッチしてテストが行われる年月日に月と日を合わせましょう。「決定」をタッチすると、テスト範囲の設定に進みます。

テスト範囲の設定

テスト範囲となっている単元をタッチしてチェックをつけてください。◀▶をタッチすると大きな単元を切り替えることができ、▼ ▲をタッチすると単元のリストをスクロールします。

「決定」をタッチすると、テスト設定が完了します。

大きな単元

タッチすると、大きな単元内に含まれる単元すべてにチェックがつきます。

チェックボックス

単元をタッチするたびに、チェックをつけたり消したりできます。

メインメニュー

教科選択メニューで教科をタッチすると、メインメニューに進みます。
「テスト必勝」や「一発暗記」などの学習メニューを選び、学習を始めましょう。

メインメニュー画面

上画面にはカレンダー(→P.16)が、下画面にはメニュー項目が表示されます。
なお、テスト設定(→P.18～19)をすると、「要点チェック」と「テスト直前ドリル」には達成度グラフが、「ニガテ抽出ドリル」には問題数が表示されます。

テスト必勝

テストに役立つ学習メニューで、3つのステップに分かれています。

STEP1	要点チェック	定期テストでよく出る、基本的な問題に取り組めます。まずはこの学習メニューで、要点を押さえましょう。
STEP2	ニガテ抽出ドリル	「要点チェック」で間違えて、ニガテと判定された問題に取り組むことができます。ニガテの克服に役立てましょう。問題に正解すると、ニガテ問題の数が減っていきます。
STEP3	テスト直前ドリル	定期テストによく出る問題が、実際のテストと同じような形式で出題されるため、実戦力を鍛えることができます。

※「ニガテ抽出ドリル」「テスト直前ドリル」は、テスト設定を行っているときにのみ選択できます。

一発暗記

各教科でよく出題される問題のなかでも、とくにまぎらわしくて覚えにくい内容の問題に、集中的に取り組むことができます(→P.34～35)。
※テスト設定を行っていて、テスト範囲内に一発暗記問題がない場合は、選択できません。

テスト設定

テスト日とテスト範囲を設定します(→P.18～19)。

学習メニューの進め方

学習メニューでは、単元ごとにさまざまな問題に取り組むことができます。
以下の手順で問題を解いて、学習を効率的に進めていきましょう。

学習メニューの始め方

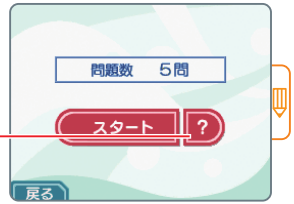
まず、学習する単元をタッチして選びましょう。各単元には、獲得したメダルが表示されます。 をタッチすると大きな単元を切り替えることができ、 をタッチすると単元のリストをスクロールします。

※「ニガテ抽出ドリル」や「テスト直前ドリル」の場合、単元を選ぶ操作は行いません。

メダル
単元の全問題に取り組むと銀メダルが、全問題に正解すると金メダルが表示されます。

問題を始める

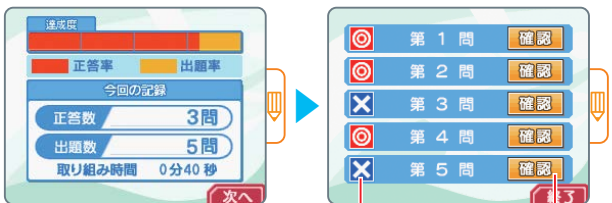
右の画面が表示されたら、「スタート」をタッチしてください。出題画面(→P.24)に進み、問題が始まります。



「?」ボタン
タッチすると、操作や手順の説明を見ることができます。

学習メニューが終わると……

すべての問題が終わると、達成度や取り組み時間などが表示され、続いて各問題の結果画面が表示されます。間違えた問題は、解説を確認しておきましょう。



問題の結果
マークの見方については P.24を見てください。

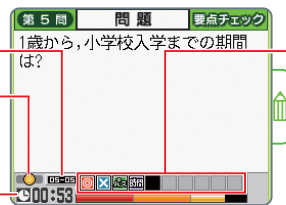
「確認」ボタン
タッチすると問題や解答、解説を確認できます。

画面の見方

出題画面で問題を順番に解いていきましょう。
メモ機能を使いこなせば、さらに学習の効率を高めることができます。

出題画面

問題によっては、一部の表示が変わることがあります。



問題の通し番号

金のマーク
正解したことのある問題に表示されます。

制限時間

操作ボタン
状況に応じて表示され、タッチすると「パス」などの操作ができます。

解答エリア
ここをタッチ、スライドして解答します。

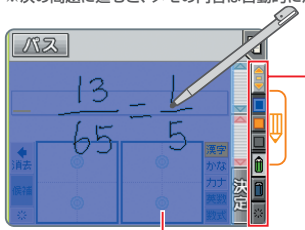
これまでの結果
:正解
:間違い
パス:パス
時間切れ:時間切れ

メモボタン（→右ページ）

スクロールバー
文章が長い場合、上(青)のバーをスライドすると上画面、下(赤)のバーをスライドすると下画面の文章を、上下にスクロールします。

メモを取る

メモボタンをタッチすると半透明のメモパネルが表示され、問題に関するメモを取ることができます。問題にもどるときは、もう一度メモボタンをタッチしましょう。
※次の問題に進むと、メモの内容は自動的に消えます。



メモパネル
青、オレンジ、グレーのパネルが用意され、3つを切り替えて使い分けることができます。

ツールボタン
タッチしてさまざまな操作ができます。
: メモパネルを上画面に移す(パネルを上画面に移すと、メモを見ながら解答できます)
※解説画面(→P.27)では、この操作はできません。
: 青のパネルに切り替える
: オレンジのパネルに切り替える
: グレーのパネルに切り替える
: ペンツール(メモパネルに文字・線を書く)
: 消しゴムツール(メモパネルの文字・線を消す)
: 書いたメモをすべて消す

メモの上手な使い方

メモは用語を書いて覚えるときや、計算問題を解くときなどに、とくに便利に使うことができます。ぜひ活用してみてください。

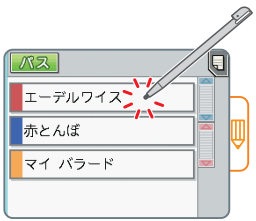
問題を解く

上画面に表示された問題を読み、下画面をタッチ、スライドして解答してください。正解できなかったときは、解説をチェックしましょう。

問題が出る

制限時間内に、出された問題に答えましょう。正しい答えがわからない場合は「パス」をしてもかまいません。なお、問題の種類によって解答の操作が異なります。ここでは、もっとも一般的な「選択式問題」を例に紹介します。

1 解答欄に表示された答えから、正しいものをタッチして選びましょう。▲や▼が表示された場合は、タッチして選択肢をスクロールできます。



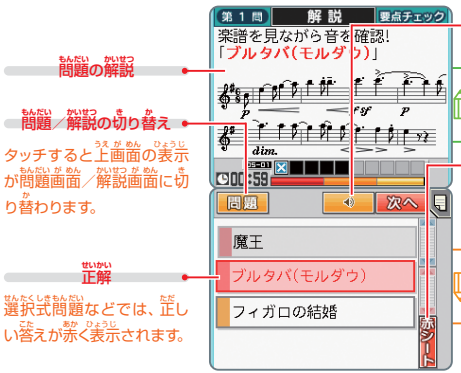
2 解答をタッチすると結果が判定されます。

解説を見る

「答えを間違えた」「時間切れになった」「パスをした」ときは、解説画面で正解とその解説を見ることができます。確認し終わったら「次へ」を選びましょう。

※すべての問題が終わったあと、「確認」ボタン(→P.23)で、正解した問題についても解説画面を見ることができます。

※解説画面でもメモ(→P.25)が取れます。



問題の解説

問題/解説の切り替え
タッチすると上画面の表示が問題画面/解説画面に切り替わります。

正解
選択式問題などでは、正しい答えが赤く表示されます。

音声ボタン
音楽で音が流れる解説画面の場合に表示され、タッチすると音をもう一度確認できます。

赤シートボタン
タッチすると、解説中の赤い文字が表示されなくなります。用語などの暗記に役立てましょう。
もう一度タッチすると通常の画面にもどります。
※「一発暗記」には、赤シート機能がありません。

次の問題へ

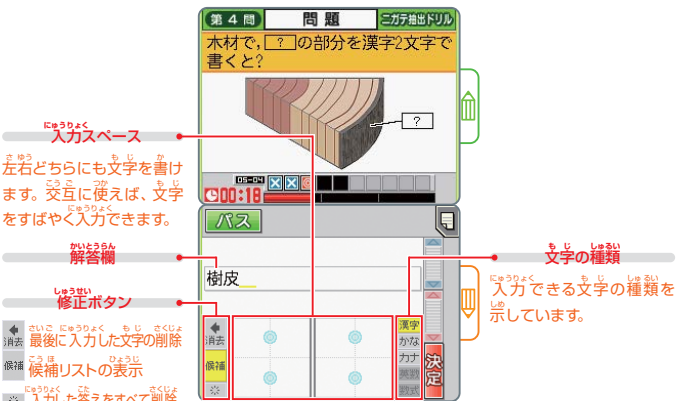
正解するか、解説画面で「次へ」を選ぶと、次の問題に進みます。

特殊な問題形式

タッチペンで下画面に答えを書く問題や、項目を線でつなぐ問題など、特殊な形式の問題が出題されることもあります。操作をしっかり覚えましょう。

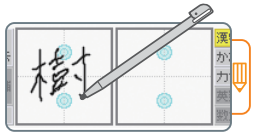
文字を書く

タッチペンで一文字ずつ、下画面の入力スペースに答えを手書きで入力する問題です。答えを書き終わったら、「決定」を選んでください。



文字の入力方法

左右いずれかの入力スペースに、タッチペンで一文字ずつ文字を書きましょう。入力した文字が認識され、解答欄に表示されます。



解答欄に表示された文字が間違っている場合は、消去をタッチして消すか、候補で候補リストを表示しましょう。候補リストには、入力した文字と形が似ている文字の一覧が表示されるので、タッチして選んでください。

文字を入力するときのポイント

•筆順を守ろう

文字は正しい筆順で書くと、認識されやすくなります。

•小さい文字は下のマスに書こう

「ゅ」「っ」などの小さい文字は、入力スペースの右下または左下のマスに書くと認識されやすくなります。

•すばやく入力しよう

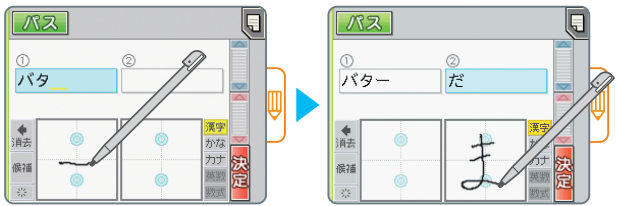
文字を書いている間にタッチペンを止めると、その時点で文字が認識され、間違った文字が入力されることがあります。一気に文字を書くようにしましょう。

※「設定」(→P.17)で「手書き認識スピード」の数を小さくすると、ゆっくり書いても間に合うようになります。入力がうまくいかないときは試してみましょう。

複数の解答を書く

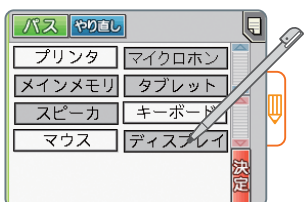
複数の解答を書く場合は、まず一つの解答欄をタッチして選んでから解答を書きましょう。解答を書き終わったら、別の解答欄をタッチして選んでください。

すべての解答を書いたら、「決定」をタッチしましょう。



複数の解答を選ぶ

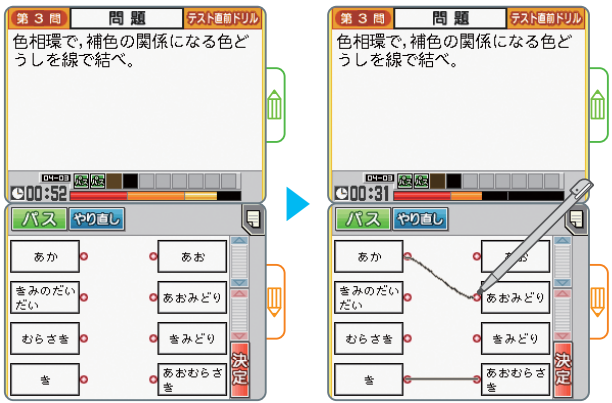
複数の解答を選ぶ問題では、当てはまる項目をすべてタッチしましょう。もう一度項目をタッチすると選択を解除することができ、「やり直し」を選ぶと、すべての選択が解除されます。選び終えたら「決定」をタッチしてください。結果が判定されます。



線で結ぶ

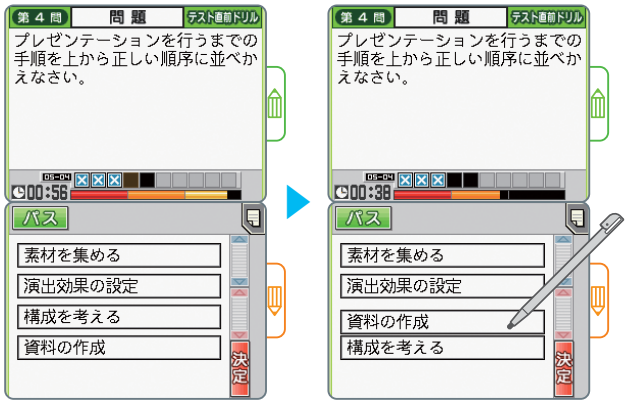
左側と右側の項目をつなげて、正しい組み合わせを選ぶ問題です。タッチペンをスライドして、両端の ● を線で結んでください。線を消すときは、「やり直し」を選びましょう。

「決定」をタッチすると結果が判定されます。



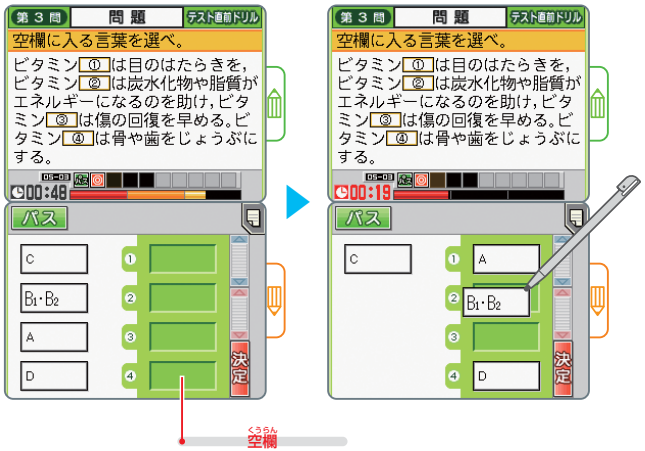
答えを並べ替える

問題の指示にしたがって、各項目のパネルをスライドして動かし、上から正しい順番になるように並べ替えてください。「決定」をタッチすると結果が判定されます。



正しい答えを当てはめる

並べられた選択肢の中から正しい解答をタッチペンでスライドして動かし、空欄に当てはめてください。「決定」をタッチすると結果が判定されます。



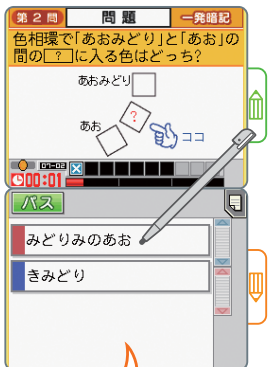
一発暗記

「一発暗記」はテストによく出るまぎらわしくて覚えにくい用語などを、スピード2択で解き、ひと目でわかる解説で覚える学習メニューです。

「一発暗記」の進め方

メインメニュー(→P.20)で「一発暗記」を選び、続いて単元を選んで問題を始めてください。

「一発暗記」では2択問題に連続で取り組みます。間違えたら解説を確認しましょう。間違えた問題はもう一度出題され、全問正解すると終了します。



一度間違えた問題に正解すると、○が表示されるよ。

1問5秒以内でどんどん答えていこう。

※全問正解までに5分以上かかると、時間切れになります。

一発暗記の解説画面

「一発暗記」の解説画面では、正答とポイントがひと目でわかる解説が表示されます。確認したら「次へ」をタッチして進みましょう。

なお、一部の問題ではゴロ暗記解説を見ることもできます。

ゴロ暗記解説について

「一発暗記」のゴロ暗記解説では、覚えにくいものの同士を、文章とイラストのセットで楽しみながら覚えることができます。マークがあるものがゴロ暗記解説になります。

音楽、家庭、美術にゴロ暗記解説があるよ。

Q&A

本ソフトの使い方について、よくある質問と回答を紹介します。
わからないことがあったら参考にしてみましょう。

書きたい文字がうまく認識されません。どうすればいいですか？

次の3つのことを試してみてね。

1 まずは正しい筆順を確認しよう

正しい筆順で書くと認識されやすくなるよ。

2 候補リストを確認しよう

「候補」をタッチして、入力したい文字が候補のなかにあれば、その文字を選ぶことで入力できるよ。

3 スピード設定を確認しよう

書いている途中で変換されるときは、「設定」（→P.17）で「手書き認識スピード」の数を小さくすると、ゆっくり書いても間に合うようになるよ。

制限時間を変更できませんか？

制限時間は、学校の定期テストで問題を解くのに必要な時間を考慮したうえでの適切な時間設定になっているから、変更することはできないよ。

体育と美術に教科書設定がないのはなぜですか？

体育と美術は、学校での定期テストの範囲発表が教科書のページではなく、競技名や項目名で指定されることが多いよ。だから体育は競技名、美術は項目名から単元を選ぼう。

音楽の音は聴きたいけれど、BGMは消したいです。どうすればいいですか？

「設定」(→P.17)で音楽の音とBGMを分けて設定できるよ。

学習上の注意

- 複雑な地形の地図や画数の多い漢字などは、文字表示画面に限界があるため、正確に表すことができない場合があります。正確な地図や文字は教科書などで確認してください。
- 授業や教科書と内容が異なる場合、学校の先生に確認したうえで、学校で習ったほうを覚えてください。
- この教材は2011年7月現在の情報をもとにつくられています。
- 統計資料類の中には計算方法により、合計が100%にならない場合があります。
- 色は液晶表示のため実際と多少異なる場合があります。
- 音楽のアルト リコーダーの運指は「バロック式」に従っています。
- 技術のパソコンのキーの配列は機種によって異なります。

ユーザーサポート

フリーコール **0120-923776**

［受付時間］11:00～18:00（日曜・祝日・年末年始を除く）

※電話番号をよくお確かめのうえ、おかけください。
※通話料は無料です。
※一部のインターネット回線からは042-679-8371へおかけください（ただし通話料がかかります）。

任天堂の許諾がない装置を使用した場合、このゲームはプレイできない可能性があります。

FOR SALE AND USE IN JAPAN ONLY. COMMERCIAL USE, UNAUTHORIZED COPY AND RENTAL PROHIBITED.
本品は日本国内だけの販売および使用とし、また商業目的の使用や無断複製および賃貸は禁止されています。

バックアップ機能に関するご注意

- このDSカードには、ゲームの成績や途中経過をセーブ(記録)しておくバックアップ機能がついています。
- むやみに電源をON/OFFする、電源ランプが点灯したままDSカードを抜き差しする、操作の誤り、端子部の汚れなどの原因によってデータが消えてしまった場合、復元はできません。ご了承ください。
- セーブデータを改造する装置の使用は、ゲームを正常に進められなくなったり、セーブデータが壊れたり消えたりする原因となりますので、絶対におやめください。万一このような装置を使用してセーブデータを改造された場合には、改造する前の状態に復元することはできませんので、十分にご注意ください。